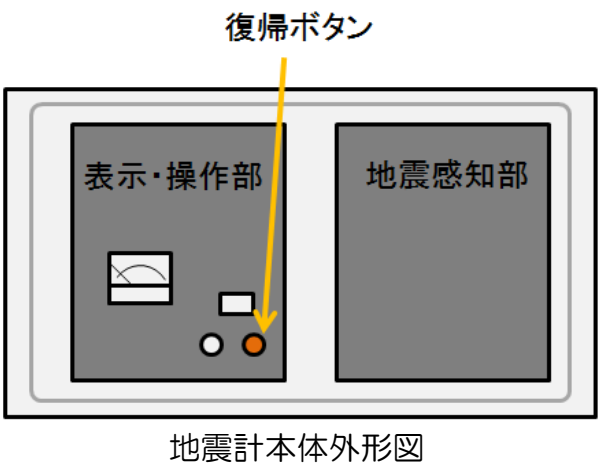


【事象の概要】

原子炉格納容器圧力逃がし装置（フィルタベント系）の設置工事に伴い、原子炉建屋に設置されている地震計のケーブルが干渉する可能性があったことから当該ケーブルを撤去するため、地震計を停止。その後、当該個所のケーブルの復旧作業が終了したことを受け、平成28年7月8日、地震計を復旧する際、本来、地震計の本体にある復帰ボタンを押したうえで通常状態に復帰させる必要があったが、復帰ボタンを押さずにケーブルを取り外したため、「原子炉建屋上部水平方向地震加速度大トリップ」警報が発生した。

【事象発生時のプラント状態】

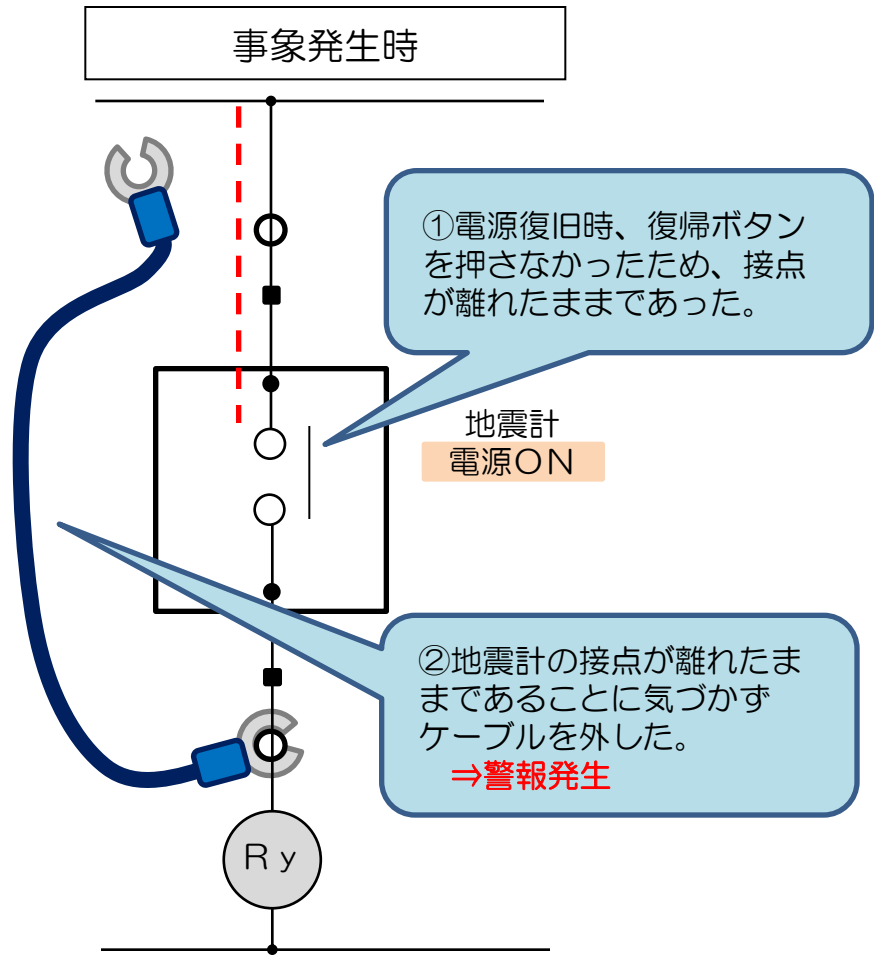
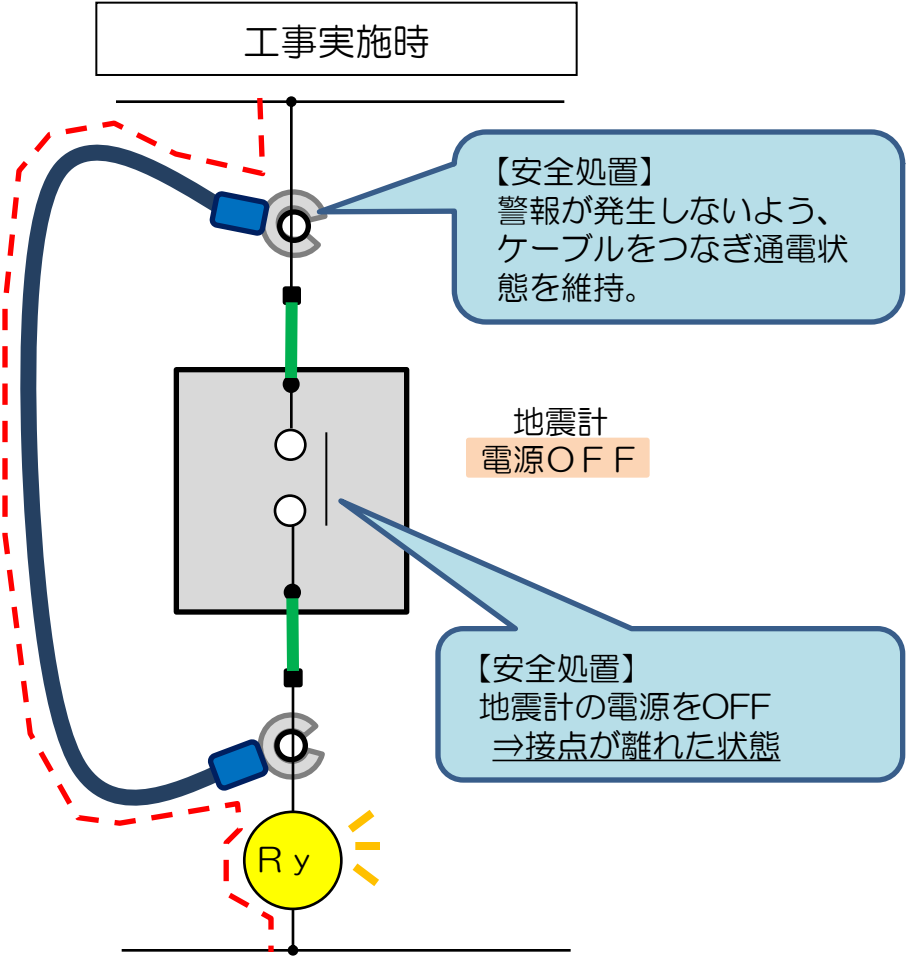
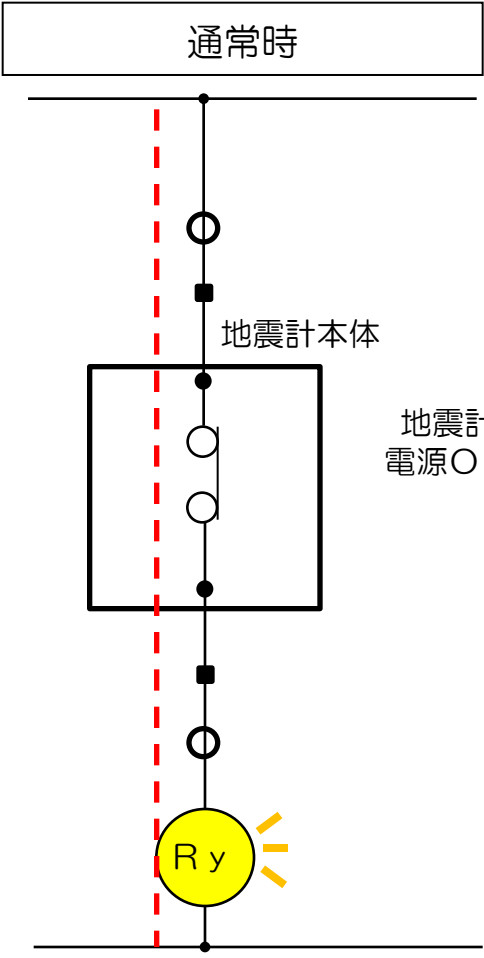
- 原子炉は停止中で原子炉内の燃料は全て取り出されており、地震による原子炉の自動停止の機能が必要とされない状態



凡例

——：電気回路
- - -：通電箇所

● Ry：制御リレー（電源供給あり）
○ Ry：制御リレー（電源供給なし）
⇒制御リレーに電源供給がなくなると、警報が発生する



※工事において緑線部のケーブルが干渉するため、一時的に撤去。